

山梨県北杜市ほくとしの名水百選について

白州・尾白川はくしゅう・おじらがわ

形態：河川

概要：尾白川は南アルプスの駒ヶ岳に源を発し、一級河川富士川の最上流の釜無川に流入する河川である。

古来、白州山中に白黒で尾が白い神馬が住み、その靈験は白黒（善悪）を明らかにし、人界を律すると伝えられてきた。その神馬が住む靈境を源とする川であることから尾白川と呼ばれている。

上流は、千丈滝・噴水滝・神蛇滝・不動滝等に代表される渓谷美が見られる。

八ヶ岳南麓高原湧水群やつがたけなんろくこうげんゆうすいぐん

形態：湧水

概要：三分一湧水さんぶいち、大滝湧水おおたき及び女取湧水めとりの3つの湧水からなっており、富士山、甲斐駒ヶ岳を一望できる景観を有している。

・三分一湧水

武田信玄が湧水をめぐり長年の間続いた水争いを治めるため、三つの村に平等に水を分配したことが、名称の由来となっている。

・大滝湧水

湧水群の中で最も湧水量が多く、旧小淵沢町の生活用水、上水道、農業用水として利用されている。

・女取湧水

八ヶ岳南麓の湧水としては最も高い位置にあり、女取川の水源地となっている。